

感染症発生状況

令和7年12月17日

各保育施設の長 様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和7年12月8日（月）～12月12日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は 2,690名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】 334名 【職員】 62名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】 67名

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】 症状別：熱（104名）、咳鼻水（59名）、嘔気嘔吐（34名）、下痢腹痛（18名）

疾病別：インフルエンザ（92名）、胃腸炎（6名）、水痘（5名）、ヘルパンギーナ（4名）

【職員】 症状別：嘔気嘔吐（13名）、熱（6名）、下痢腹痛（4名）、咳鼻水（4名）

疾病別：インフルエンザ（26名）、胃腸炎（5名）、突発性発疹症（3名）

**A型インフルエンザは急激に減少していますが、
1月に再度流行の可能性がありますので、引き続き
咳エチケットと手洗い励行をお願いします。**

【疾病別の発生状況】

インフルエンザ 玉山地区、厨川地区、河北地区、盛南地区、河南地区、都南地区で減少しました。

胃腸炎 厨川地区、河南地区で増加しました。河北地区で減少しました。

水痘 河北地区で増加しました。

ヘルパンギーナ 河北地区で増加しました。

【県の状況（12/1～12/7）】

急性脳炎の報告が1例ありました。侵襲性肺炎球菌感染症の報告が1例ありました。

梅毒の報告が1例ありました。破傷風の報告が1例ありました。百日咳の報告が8例ありました。

インフルエンザの定点当たり患者数は減少し、38.24人となりましたが、警報値（30.0人）を超えています。学校等休業措置は45件ありました。年齢階層別では全体の約8割が10代以下となっています。県環境保健研究センターの検査ではAH3亜型（香港型）が検出されています。手洗い、手指消毒、咳エチケット等基本的な感染予防対策が重要です。症状がある場合は、感染を広げないようにマスクを着用のうえ受診をしてください。

感染性胃腸炎の定点当たり患者数は増加し、6.63人となりました。集団発生事例は盛岡市と二戸地区の教育保育施設で2件ありました。胃腸炎ウイルスは消毒用アルコールが効きにくいいため、石けんと流水による手洗いが重要です。調理や食事の前、トイレの後は手洗いをしましょう。

新型コロナウイルス感染症の定点当たり患者数は減少し、2.02人となりました。盛岡市、県央、久慈、釜石地区の高齢者施設では8件のクラスターが発生しました。手洗いや咳エチケット、換気等の基本的な予防対策をしましょう。

伝染性紅斑（リンゴ病）の定点当たり患者数は増加し、1.70人となりました。宮古、中部、一関、釜石地区で警報値（2.0人）を超えています。こまめな手洗いや咳エチケット等の基本的な感染予防対策が重要です。

◆岩手県新型コロナウイルス感染症関連情報

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyau/iryou/covid19/index.html>

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話613-8347（ダイヤルイン）ファックス652-3424】